

## 2011年1月8日 神年神事レポート

◎神戸へ

神年、根源家族∞皇の愛と光は高まり、神代は明ける。

前日に感じたキーワードは、『鏡開き』。

このタイミングで初めて神戸に行き、神事に参加することを決めてから、自分の中では、真の始まりとなる大きな変容の予感がありました。



7日、神戸へ向かう新幹線の車窓から。岐阜のあたりは一面真っ白雪景色。美しい伊吹山。

神戸に着くと、太陽に照らされて何もかもが静かに輝いているようでした。ちらちらと風花が舞っていました。祝福されているかのごとく、やさしい雪でした。

剣さんと明日香さんと愛ちゃんと一緒にクアハウスへ。

水風呂は、まさにクリスタル！

光に溶け込んでいるような心地よさと、  
細胞ひとつひとつにそれが染み渡り、浮遊しているような気持ちよさと、  
肉体が開かれ光に変容していくかのような一体感にひたり、  
ずっとはいつていたい！と全身で喜んでいました。

お風呂からあがると不思議とあたたかくて、生まれ変わったかのように感じた。



## ◎生田神事◎

### 目的

根源カー神界への正式な鳥居 = 入門となる神事

根源エンブレムとつながり、自分とハイアーがそのゲイトとなる



朝、ホテルから見た金色の太陽と、朝日を受けて輝く生田の森。



はじまりにふさわしい、とても清く、すがすがしい空気。

生田には、菊の中心 = 太陽神界のコアのエネルギーがあり、  
古神道の五色のエネルギーがあるので、国津から天津に転換する場合の入口になる。  
ここですべてを統合し、ここからがスタートとなる。



赤と金のエネルギーに、根源の白のエネルギーが降ろされているような感じ。

始まる前はただ、みなさまがひとり残らず根源カー神界へ入門できますように、  
ということをおもっていました。



昇殿参拝では、いつも通り後ろに座ろうとしたらゆらがそこはやだというので、  
なぜか真正面に座ることになってしまいました。

が、そのことで自分の中でのスイッチがはいりました。

ご祈禱中に神主さんが、「NMCAA アセンションアカデミー」と読み上げると、

ここにいるみんなのハイアーの願いと、今までのすべての宇宙史と、  
それを経て今ここに辿り着いたことへの大きな想いが一瞬で伝わり、うるうる、、、  
次の瞬間にはそのうるうるは大きな歓喜となって、真の始まりとそれを創造する  
ことへの喜びとなって、笑顔とともにひろがっていきました。

みんながひとつになって、カーさまのもとに集っているのを感じていました。

奥から、白くまばゆい光が放たれて、ぱあーつとひろがり飛び込んできました。

今から思うと、それはカーさまから発せられた根源フォトン、根源太陽の光であり、それが一丸となった私たち子と、御神鏡を通して反射しているようでもあります。

カーさまもトーさまもそこに居られて、三位一体の皇のDNAがひとりひとりと全体に起動し、地球維神を動かしていくことのできる、根源家族のパワーがそこに確かにありました。

そのことが大きな喜びだと、みなさま感じていたと思います。

地上セルフが気が付いていなくとも、誰もがすばらしかったです。



生田池にある弁天社で、GAIAさんと貴さんと三人でお参り。根源家族のみんなといると、それだけで安らかであたたかくて、深いところでうるうるしている感じがします。

### ◎生田の森◎





とにかく心地よくて気持ちよくて、ずっとここにいたい、という、  
根源宇宙の空間でした。一体となり浸透し、喜びがあふれます。

### 奥の宮



神宮皇后を祀る奥の宮。

「ここだー」とただそこにあるエネルギーに反応していました。  
私にとっては、ここに来た、ここにいる、それだけでよかったのです。

すーっと静かにエネルギーが通っていきます。

生田の森の中、天に柱が伸びていそうなまあい空間で、  
60人を超える根源家族のみなさまが輪になり感じたことなどシェアしました。

みんながひとつになれるこの時間が好きです。



Photo by 光琳さん

最後に天鏡さんが、総括してエネルギーと動きをまとめてくださり、  
みんなに伝わり共鳴しあっていました。

ファシリテートしていただいた Love さん、天鏡さん、  
どうもありがとうございました。

**根源家族がひとつになって根源カーさまのもとへ、**

**三位一体による皇の愛と光の祝福をうけて、**

**その限りない喜びと安らぎのうちに、永遠に還りついた...**

**そしてここから、わたしたちひとりひとりのうちから、**

**この神聖なる歓喜を発神し拡大していく。**

いまこの瞬間にも、Ai先生をとおして、  
根源の愛のフォトンが注がれていることに感謝して。



神宮リタ

